

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
外国語	英語コミュニケーションⅢ	4	習熟度別	共通	3

教科書（発行所）	CREATIVE English Communication Ⅲ（第一学習社）
教科書以外の教材	1 英作基本文例 600（啓隆社） 3 新・英語の構文 150（美誠社） 2 必携英単語 LEAP（数研出版）

学習の到達目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。			
	学期	学習事項	学習内容(記号は評価の観点)	考查等
学習計画	1 学期	Lesson 1 Fast, Safe, and Efficient!  Lesson 2 Water for Life  Lesson 3 Athletes as Human Rights Leaders  Lesson 4 The Linguistic Genius	Lesson 1 (ア) 分詞構文の否定形について理解を深め、これらを適切に活用することができる。(イ) 日本・世界の高速鉄道の発達についての確に理解し、内容を整理して伝えることができる。 Lesson 2 (ア) 無生物主語について理解を深め、これらを適切に活用することができる。(イ) 世界の水問題を解決しうる日本の井戸掘り技術について理解し、内容を整理して伝えることができる。 Lesson 3 (ア) 進行形の受け身について理解を深め、これらを適切に活用することができる。(イ) オリンピック憲章の条項を読み、本文と読み比べ、条項を改定すべきか自分の考えを述べるすることができる。 Lesson 4 (ア) 会話における音の変化について理解を深めることができる。(イ) 赤ちゃんの言語習得を理解し、内容を整理して伝えることができる。	中間考查    期末考查
	2 学期	Lesson 5 Going Digital: What Does the Digital Age Bring?  Lesson 6 Mirrors of the Times  Lesson 7 Eat Well, Play Well!  Lesson 8 The Bridge to the Science World	Lesson 5 (ア) イギリス英語のスペリングについて理解を深めることができる。(イ) デジタル化について理解し、内容を整理して伝えることができる。 Lesson 6 (ア) ダッシュの用法について理解を深めることができる。(イ) 人類と病気の戦いの歴史について理解し、その内容を整理して伝えることができる。 Lesson 7 (ア) コロンとセミコロンの用法について理解を深めることができる。(イ) スポーツ栄養について理解し、内容を整理して伝えることができる。 Lesson 8 (ア) 形容詞で始まる分詞構文について理解を深め、これらを適切に活用することができる。(イ) 橋の構造と役割を的確に理解し、内容を整理して伝えることができる。	課題考查   中間考查  卒業考查
	3 学期	Lesson 9 Notorious RBG	Lesson 9 (ア) if ... 以外が条件を表す仮定法について理解を深めることができる。(イ) ギンズバーグ判事の生涯について理解し、内容を整理して伝えることができる。	Lesson 9

授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 提出物・宿題は期限をきちんと守る。</li> <li>2 日本語と英語の音の違いを学んで、声に出して読む練習をする。音読を積極的に取り入れる。</li> <li>3 授業中は必ず辞書を持参し、こまめに辞書を引く習慣をつけ、語彙力をつける。</li> <li>4 ノートやプリントは板書をそのまま写すだけで終わらせず、説明を集中して聞き、メモを取ったり、アンダーラインを引いたりする習慣をつける。ノートが自分の参考書になるので、後から復習で活用できるように丁寧にまとめる。</li> <li>5 言語は自分で努力をして学んだもの以外は身につかない。必ず予習をして授業に臨み、その日のうちに復習をすること。予習→授業で確認→復習のサイクルを身につけて繰り返すことが確かな英語の力となる。</li> </ol>
----------------------	---

評価の観点	ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
評価の方法	授業時の観察・定期考查・課題考查・課題確認テスト(小テスト)・インタビューテスト・日々題・週課題。授業に臨む姿勢や意欲及びパフォーマンス評価・自己評価を総合的に評価します。 いわゆるペーパーテストのみの点数がすべてではありません。身につけるべき能力をまんべんなく評価します。よって、テスト以外の普段の取り組みも評価の対象になります。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力も問うので、普段から、本質的な力を磨くようにしてください。		